

仕様

消耗品

試薬

KURABO

研究専用

装置仕様

製品名	DNA自動分離装置 GENE PREP STAR
モデル	PI-1200A
最大セット数	384
使用容器	96ディープウェルプレート x4
搭載可能プロトコール	プラスミド、動物組織、植物組織 (Ver.1) など
主な本体構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遠心分離ユニット……スイング方式 (最高4,000RPM)</li> <li>●分注ユニット……12連チャンネルノズルノ液だれ防止機構付</li> <li>●ロボットユニット……X・Y・Z駆動方式</li> <li>●移動テーブルユニット……X軸駆動</li> <li>●攪拌ユニット……偏心回転振動方式</li> </ul>
主な搭載機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラメータ9種類変更保存・運転</li> <li>●再スタート運転</li> </ul>
主な付属品	廃液タンク2個
消耗品	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各専用チップ</li> <li>●専用試薬</li> <li>●96ディープウェルプレート (市販品)</li> </ul>
電源	本体: 単相AC200V、50/60Hz、容量: 1.8kVA パソコン: AC100V、50/60Hz
外形寸法	W 1,820 x D 750 x H 1,650 mm
重量	約580 kg
標準価格	24,000,000円 (プロトコール1種類選択搭載) ※パソコン1台含む ※Microsoft Windows10搭載PC対応

消耗品

製品名	内容	製品番号	標準価格
バルクチップ	1,000本	T-1000B	11,000円
チップラック	96本/ラック x 10 仕切有	T-1002R	19,000円

試薬

製品名	製品番号	標準価格
プラスミド分離用試薬キット	PR-500	58,000円
植物DNA分離用試薬キット (Ver.1)	NR-501	52,000円
組織DNA分離用試薬キット	NR-201	48,000円

- 本カタログ記載の製品は医療用具ではなく研究用に限定して販売しています。医薬品の製造、品質管理および各種診断・治療に使用しないでください。
- 製品および仕様・価格は、予告なしに変更することがあります。
- 本カタログに記載の価格には消費税等は含まれておりません。

GENE PREP STAR

PI-1200A

Automated DNA Isolation System

High quality DNA

96 deep-well plate

384 sample

E-mail notification

Low running cost



クラボウ 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

■大阪 〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター2F

TEL.072-820-3079 FAX.072-820-3095

■東京 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1 野村不動産日本橋本町ビル2F

TEL.03-3639-7077 FAX.03-3639-6998

■Web <https://www.kurabo.co.jp/bio/>

# 特長

## ■DNA分離工程



## ■特長

### - 多検体自動処理

- 各種DNAを96ディープウェルプレートで自動分離
- 最大**384試料**(96ディープウェルプレートx4枚)セット可能
- 96ディープウェルプレートにて培養した菌体をそのままセットでき、集菌からDNA溶解まで自動運転可能
- サンプルセットから**約4時間**で運転終了

### - 低コスト

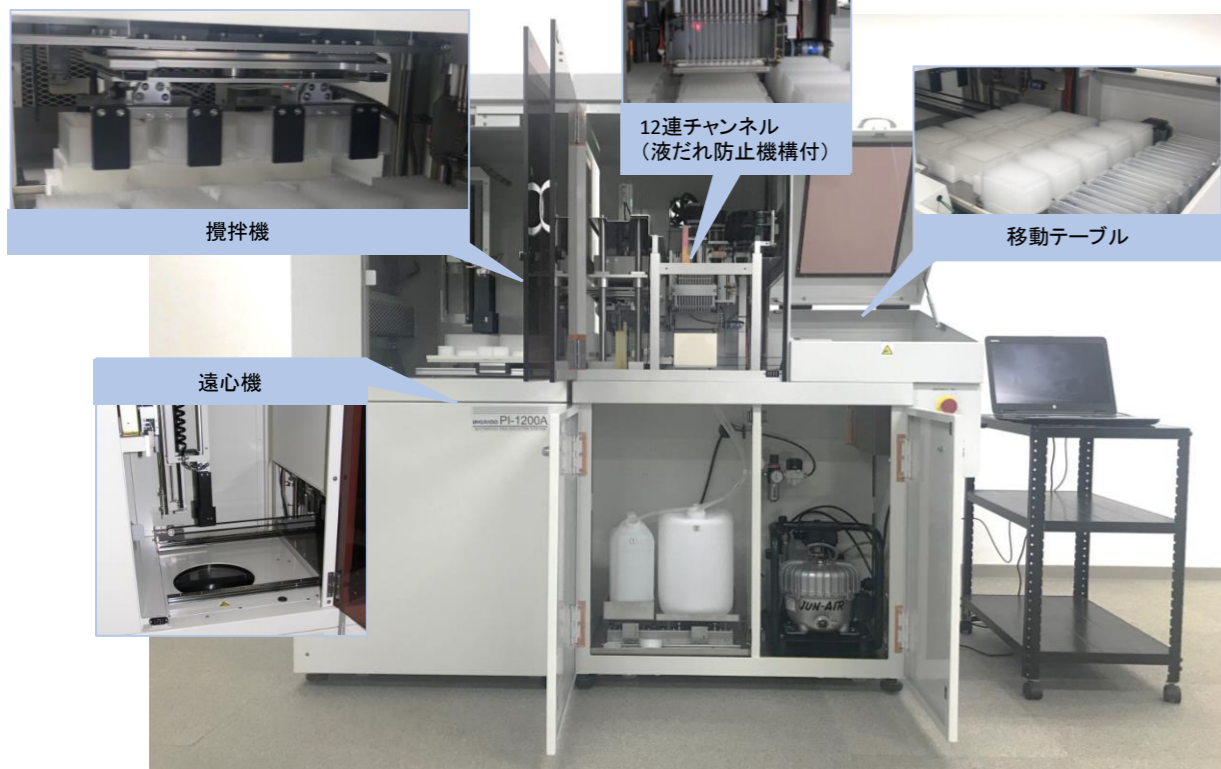
- 96ディープウェルプレート、専用チップ、専用試薬のみの運転で**低ランニングコスト**を実現
- プラスミド分離 約80円/検体
- 植物DNA分離 約75円/検体
- 動物組織DNA分離 約70円/検体 等

### - e-mailによる通知機能搭載

- 運転終了をe-mailで通知
- 運転途中でエラーが生じた際、通知可能
- ※ネットワーク接続の必要あり



## ■標準搭載ユニット



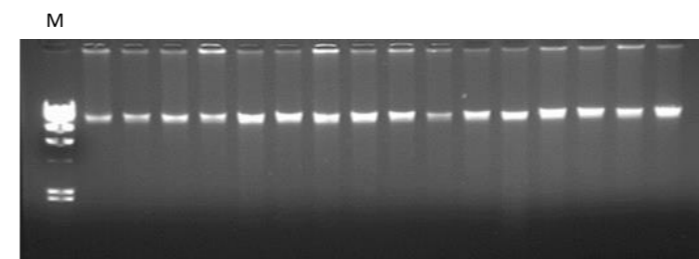
# アプリケーションデータ

## ウシ鼻腔細胞

### <実験概要>

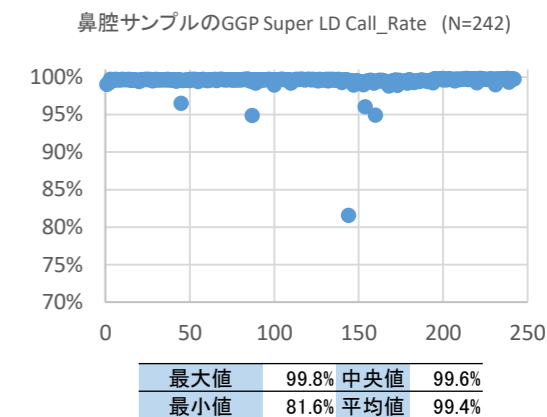


### <分離DNAの品質チェック\_アガロースゲル電気泳動図>



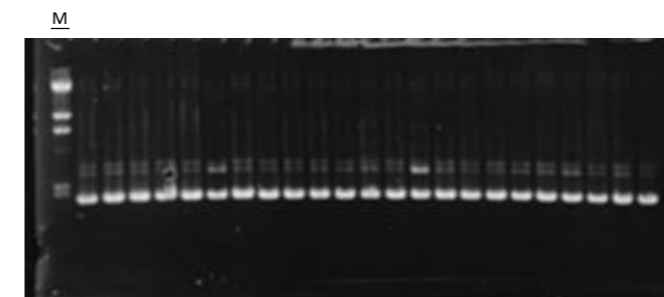
- DNA分離条件
- サンプル: ウシ鼻腔細胞
  - 分離プロトコール: 組織プロトコール
- 電気泳動条件
- 1% アガロース, 1x TAE
  - 50V, 60 min
  - エチジウムブロマイド染色
  - M: λHind III digest

### <SNP型判別率>



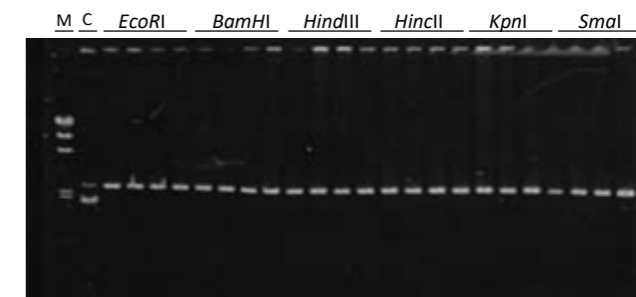
## 大腸菌

### <分離プラスミドDNAの電気泳動>



- サンプル: *E. coli* DH5α / pBluescript sk-  
 分離プロトコール: プラスミドプロトコール  
 M: λHind III digest

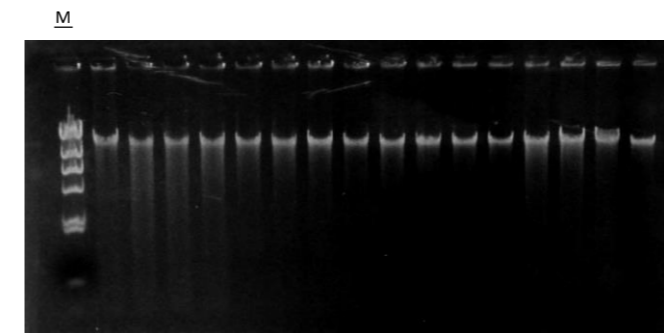
### <分離プラスミドDNAの制限酵素処理>



- 反応条件: 分離DNA 200 ngのプラスミドを4 unitsの制限酵素にて、37°C、2時間の反応を行った。  
 M: λHind III digest C: undigested

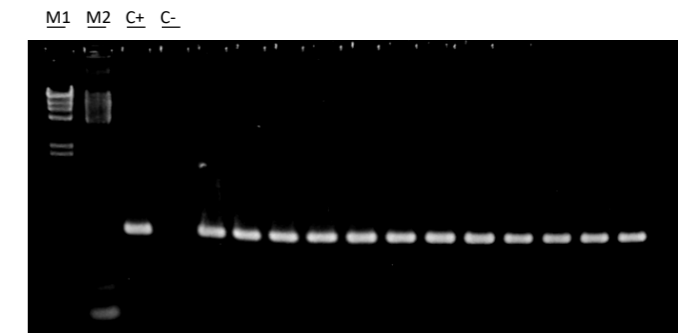
## ダイズ葉

### <分離ゲノムDNAの電気泳動>



- サンプル: ダイズ葉 50 mg  
 分離プロトコール: 植物プロトコール  
 M: λHind III digest

### <分離ゲノムDNAのPCR増幅>



- 鋳型DNA: 各50-150 ng ターゲット: ダイズ-rbcL 遺伝子の一部 (670bp)  
 増幅: 30 Cycles 酵素: Taq DNA polymerase (0.125U)  
 M1: λHind III digest M2: φ200bp radder  
 C+: Positive control C-: Negative control